



【星城高等学校 SGLマレーシア海外研修での集合写真】

## 昭和から平成、そして令和へ 躍動する星城

# 特集

★ 高等学校編 SGL活動報告！

★ スポーツ編

卒業生の活躍 / 弓道部の活躍 / ゴルフ部の活躍

学園アラカルト

星城懇話会 会員交流会開催 / 星城大学 美濃加茂市と健康増進への連携協定締結

# 昭和から平成、そして令和へ 躍動する星城

～高等学校編～



## SGL活動を振り返って

星城高等学校副校長 水野 謙二

2019年度、文部科学省から指定を受けたグローバル型の地域協働事業を本校ではスーパーグローバル・リーダー(Super Glocal Leader)を育成する活動と位置づけて、SGL活動と呼んでいます。次期学習指導要領を先取りする形でスタートした国の事業により、グローバルな視点を持ってコミュニティーを支えるグローバル・リーダーを育成するSGL活動に取り組んでいます。

豊明市をはじめとするコンソーシアムの連携・協力を得て課題解決型の地域協働活動を行い、外国人市民と高齢市民が輝く街を協創するというRainbow Bridge Projectからの学びは生きていく上で大きな財産になります。10月の花植え活動や2月のポスターセッションでの提言などを通じて、生徒は将来のリーダーに求められる主体性、協働性、探究力、発信力を着実に身につけています。地域とのつながりを大切にしながら地域課題の解決に向けた主体的で探究的な学びを一人ひとりがさらに発展させてくれることを期待しています。

## ★ SGL成果発表会 (校外発表会) に向けて

星城高等学校仰星コース教頭 春木 利久



【ポスターセッションの様子】

3月14日(土)SGL成果発表会は、文部科学省初等中等教育局参事官付(高等学校担当)高等学校改革推進室室長の安彦広斉様をお招きして実施する予定でした。その発表内容は第2学年SGH発表(英語での発表)、第1学年SGL発表(2班がそれぞれ日本語、英語で発表)、SGLマレーシア海外研修発表(日本語での発表)、2019年度全国高校生フォーラム発表(英語での発表)です。しかし、新型コロナウイルス感染症についての事案が生じて、新年度に規模を縮小して実施できるように企画変更を進めています。

特に、第1学年SGL発表はポスターセッション形式で校内発表会を実施しました。仰星コースと特進コース合わせて28班が、それぞれに外国人市民との多文化共生や高齢市民の健康福祉について探究し、調べたデータを基に独自のアイデアを考え、新たな地域協働活動の提言としてポスターにまとめて発表しました。



1年間の  
成果を発表!



## ★ 花溢れる街づくりプロジェクト

星城高等学校 SGL主任 弓場 将司



【ていねいに花を植えました】

10月19日(土)に豊明市内5カ所(豊明団地、三崎水辺公園、前後駅前スクエア、大蔵池公園、はざま公園)で、各地区の高齢市民のみなさん・ベトナムの方々をはじめとした外国人市民のみなさん・豊明高校の生徒や星城大学留学生のみなさんの総勢約100名が集まり、本校の生徒たちと協働で花溢れる街づくりプロジェクトを実施しました。地域の方々と事前に相談して決めた花の苗を植えながら、ベトナム人の子どもたちと仲良くなって楽しそうに活動する生徒や高齢市民の方々と気さくに話しながら作業する生徒も多くいました。



【地域の皆さまと和気あいあい】

完成した色鮮やかな花壇を前にして、本校生徒たちだけでなく、参加した地元地域の方々の表情にも気持ちのよい笑顔が溢れていました。地元地域に住む方々とのコミュニケーションや交流が共生や協働の基盤であることを実感する一日となり、

多世代交流・多文化交流の第一歩が踏み出せました。



## ★ マレーシア海外研修

星城高等学校 SGL副主任 城戸 孝之

12月15日(日)から21日(土)まで、仰星コースと特進コースの1年生30名がマレーシア海外研修に参加しました。5つの班に分かれ、SDGsのテーマをそれぞれ設定して、グローバルな視点での学びをより深めるために探究活動を行いました。

多文化共生アプローチでは多民族・多宗教・多言語が共存・共生する多文化共生社会を探究するいくつかのフィールドワークに取り組みました。B&Sプログラムでは事前に検討した自分たちのテーマに基づく訪問先でマレーシアの現地大学生のサポートを得てフィールドワークを実施しました。

健康福祉アプローチでは、マレーシア移住日本人高齢者の方々と交流することで、日本の地域社会に必要なことを探究するフィールドワークになりました。



【仏像の前で集合写真】



【民族衣装が良く似合っています!】

すべての行程において生徒たちの主体性が感じられ、この研修を通して得た探究の成果が学校での探究学習プログラムに繋がる学び多き海外研修になりました。

# 特集 卒業生の活躍

## 偉業 剣道八段\*合格!

\*八段は、剣道の最高段位。  
八段合格には、風格、品位などが審査される。

せきや たけひさ  
**関屋 猛久さん**  
(星城高等学校 平成元年度卒業)

- 教士八段
- 星城大学剣道部男子監督



星城高校の卒業生で、星城大学剣道部監督の関屋猛久さんが、昨年11月の剣道八段審査で無心の技を出しきって合格。見事な一本で、合格率0.37%という日本最難関の試験を突破されました。



『小学2年から剣道を始め、星城高校ではインターハイ、国体にも出場しました。高校卒業後は、柔剣道を社技と位置づける東レに入社、勤務のかたわら、剣道に打ち込み続け、学生たちへの指導も行っています。』

星城高校では、毎日今では考えられないくらいに厳しい稽古に明け暮れました。この厳しさを乗り越えてきたからこそ、心技体ともに逞しく成長できたものと思います。また、剣道部の仲間意識は抜群に高く、仲間を大切にするという意識や考えを高校時代に培うことができたことは、社会人になった今も役立っています。

剣道という一つのことを長く続けてきましたが、一つのことを継続することは意外と難しいことです。何事も「明るく」「楽しく」「前向きに」そして自然体であり、尚且つ「あわてない」「あせらない」「自信を持って…」が私の信念です。この思いで命ある限り生涯剣道を肝に銘じ努力精進していきたいと思っています。』

関屋監督は八段審査当日の朝も、星城大学剣道部師範の東良美先生(範士八段)と立合稽古をして審査に挑みました。八段合格は、まさに自信を持ってあせらず臨み、日々積み重ねてきた稽古での取り組みの成果です。

星城大学剣道部は、師範が全日本選抜八段大会で日本一に輝いた東良美範士八段、監督が40代という若さで八段合格を果たした関屋猛久教士八段と、いずれも剣道の最高段位に輝く指導者を擁するクラブです。東師範、関屋監督指導の下、これから更なる剣道部の活躍が期待されます。



【八段合格の報告に星城高校へ来校されました】



# 昭和から平成、そして令和へ

# 躍動する星城スポーツ編

## 弓道部の活躍

### 東海学生弓道新人戦

## 快挙! 個人優勝



あづま だいすけ  
**東 大祐さん**  
(星城大学 経営学部2年)

星城大学弓道部の東大祐さんが、昨年11月、日本ガイシスポーツプラザで開催された、第56回東海学生弓道新人戦に出場し、男子個人優勝を果たしました。強豪ひしめく中、白熱した決勝射詰(最後の一人になるまでの中し続ける)が繰り広げられ、見事熱戦を制しました。

『小学校ではバスケットボール、野球部に、中学では水泳部に所属しましたが、思うような結果が出せませんでした。体力勝負でない弓道部なら結果が残せるかもしれないと思い、高校から弓道を始めました。弓道は、自分の力がそのまま結果につながる競技です。団体戦で仲間がつかずいても自分の結果が良ければ個人戦で結果を出すことができます。また、高校3年生から現在までの中率に大きな変化はないので、結果を出せるところがやりがいです。』

弓道では、弓を引く際の身体バランスが重要なため、日々筋力が落ちないように筋力トレーニングに励んでいます。また、普段は40本ほどの射込み練習、試合前になると立ち練習も行っています。

来年度も、全日本学生弓道大会、東海学生弓道秋季リーグ戦など次々と試合が控えています。努力をしても結果が出ない時もたくさんありますが、そのような時は初心に戻り射を見直すようにしています。

老若男女問わず行える弓道をこの先も長く続けていきたいと思っています。』

星城大学弓道部は、今年度から全日本学生弓道連盟の正加盟校になり、幅広く大会に出場し快進撃を続けています。これからの益々の活躍に期待が高まります。



## ゴルフ部の活躍

### 全国中学校・高等学校選抜 ゴルフマッチプレー選手権大会



## 優勝!



すずき かずき  
**鈴木 千貴さん**  
(星城高等学校 3年)

昨年12月に沖縄県のカヌチャゴルフコースで行われた「全国中学校・高等学校選抜ゴルフマッチプレー選手権大会」にて、星城高校ゴルフ部3年生の鈴木千貴さんがゴルフ部創部以来初の全国大会制覇を成し遂げてくれました。

ISPS ハンダ  
選抜ゴルフマッチプレー選手権大会



この大会は、今年度の全国大会上位者32名のみに出場資格が与えられます。1年生の時から全国大会の常連でしたが、今一步で優勝を逃してきました。そして、高校生活最後のこの大会で、断言通り優勝することができました。

『マッチプレー選手権は今回で3回目の出場となり、過去2回は1回戦、2回戦で敗退していたので「今回は必ず3回戦に進出しよう。」という思いで試合に臨みました。』

3年間たくさん迷惑をかけた顧問の先生、担任の先生方に感謝です。ありがとうございました。』

今まで支えてくれた人々に感謝しこの経験を生かして、もっともっと強いゴルファーになることを期待しています。本当に全国制覇、優勝おめでとう!

# 学園アカルト

## 丸の内キャンパス通信



丸の内キャンパスが開設してこの4月で1年を迎えます。そこで改めて印象に残った出来事を振り返りたいと思います。新学期早々、24名の学生たちがフットサル・サークルを立ち上げ、たちまち仲の良いチームができあがりしました。七夕まつりやクリスマス会など、行事の盛り上がりにはかせない存在となっています。

【丸の内キャンパス】

丸の内キャンパス独自のものとして、5階の一室にさまざまなeスポーツ機器が設置されたオープンラボの完成もニュースとなり今後の学生たちの活躍も楽しみです。

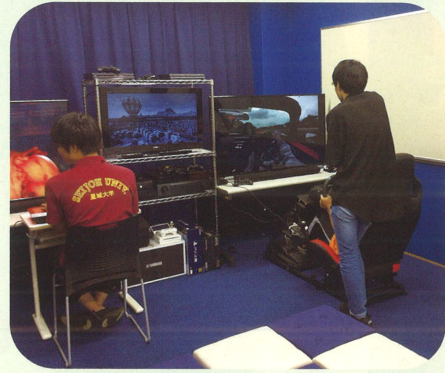
そしてもう一つ、もっともかせない取り組みとして経営学検定へのチャレンジがあります。担任教員による夏休みの補習授業や個別授業といった熱心な学習支援や学生たちの頑張りもあり、多数の合格者を出すことができました。

緊張感あり笑いあいの1年間でしたが、これまでの様々な経験を活かし学生たちは次のステップに向けて走り出しています。良き先輩として新入生の模範となってくれるはずです。

【eスポーツ オープンラボ】



【クリスマス ピンゴ大会で盛り上がりました！】



## 教室の中でも国際交流



【漢字で書道に挑戦しました！】

もちろん、留学生たちも日本の文化を学んでいます。書道、茶道、弓道、剣道、三味線、和太鼓、文化祭や体育祭、そのどれもが彼らにとって日本での貴重な経験です。

日本での生活も半分を終えました。お互いの文化に触れながら、ますますの飛躍を願ってやみません。

【着物姿に正座で茶道体験】



## 星城大学

## 「校外探究活動」

2月5日に「校外探究活動」を実施しました。各学年がテーマ別に探究活動をしました。

3年生の探究テーマは「メディアリテラシー教育」です。東海テレビ、中京テレビ、CBCテレビの3つのグループに分かれ、報道の現場を直接見学させてもらったり、関係者の方から興味深い話を聞くことができました。

2年生の探究テーマは「防災教育」。名古屋大学減災館を見学しました。近年頻発している災害や今後の巨大災害への地域密着型の戦略を学習することができました。



【CBCテレビ局】

1年生の探究テーマは「環境教育」。なごやエコバルでいろいろな体験や展示を通して身近な環境問題について学びました。

この活動を仰星コースでのSGL活動につなげていきます。

【エコバルなごや】



【名古屋大学減災館】



## 星の城幼稚園

## 「雪山遠足」



【ウェア姿がまっています！】

1月24日に年長組は「雪山遠足」でヘブンスそのはらのキッズワールドへ行きました。

前日の雨で心配しましたが、当日は滑走可能とのことで一安心。みんな朝からワクワクです。

中央道の恵那山トンネルを過ぎ、園原インターを降りるともうすぐスキー場です。山頂まではゴンドラで行き、リフトに乗り換えてゲレンデへ向かいます。今年は雪が少なく、途中の雑木林には雪が積もっていませんでした。



【そり滑りで楽しみました】

山頂の気温は7度、積雪約50センチ。子ども達は早速雪山ならではの遊びの開始です。雪に触れたり、そりで滑ったり、雪だるまを作ったり、雪合戦をしていっぱい楽しみました。

帰りのバスでは、雪遊びの話題でいっぱい。みんな卒園を前に楽しい思い出が出来ました。

## 病院実習前セミナー

1月25日にI・II部2年生を対象に病院実習前セミナーを開催しました。来年へ向けた経験も兼ねて患者役として1年生も参加。また指導者助手として学院卒業生にも協力を仰ぎ実習に向かう前の検査技術の確認やアドバイスを受けました。



卒業生から『右変形性股関節症の患者さまの筋力を測ってください』など指示を受け、2年生は非常に緊張しながら検査技術を実践していました。なかには緊張のあまり頭が真っ白になって一歩も動けなくなっている学生もいましたが、既に臨床の現場に出て活躍している卒業生達が丁寧に指導、誘導してくれていました。

通常の授業以上に集中力は高く、厳しい指摘も受けながらの2時間セミナーでした。

【先輩の指導に真剣です】

## 星城大学リハビリテーション学院



【グループに分かれての実践】

# 星城大学 リハビリテーション学部

## 美濃加茂市と 「健康増進への 連携協定締結」



11月28日(木)、星城大学リハビリテーション学部は美濃加茂市と、「健康増進を目的とした情報発信・活用に関する連携協定」を結びました。

星城大学リハビリテーション学部では、これまでに地域で生活されている方の健康増進を目的とした研究を数多く行ってきました。美濃加茂市においては、今後の重点政策に「健康」を掲げており、「地域の健康意識について考え方が一致する」として協議を進めていました。

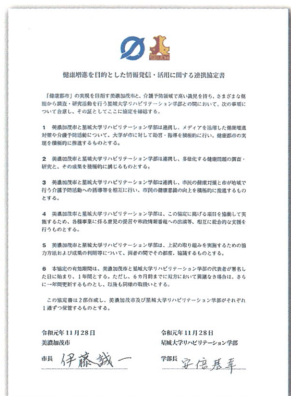


【左：安倍基幸学部長 右：伊藤誠一市長】

この協定では、美濃加茂市の介護予防教室などで計測したデータの分析を行い、その解析データに基づいた介護予防体操や健康体操を市と協働で企画、ケーブルテレビなどで放送することが決まっています。その他にも様々な活動の構想が練られています。

協定式で安倍基幸学部長は「地域住民の健康増進について大学で行ってきた様々な研究成果が生かされれば」とコメント。伊藤誠一市長は「科学的根拠に基づいた取り組みを進めていきたい」と期待を寄せられました。

今後は、これまで蓄積してきた知見や技術を活かし、美濃加茂市民の健康増進に尽力するとともに、そこで得られた新たな知見を講義に取り入れることで、教育の質向上を図っていきます。これからの活動の成果に注目が向けられます。



【学部長と市長がサインをした協定書】

# 星城懇話会



## 会員交流会を開催

12月3日(火)、ホテル名古屋ガーデンパレスにて年末恒例の「星城懇話会 会員交流会」を開催いたしました。

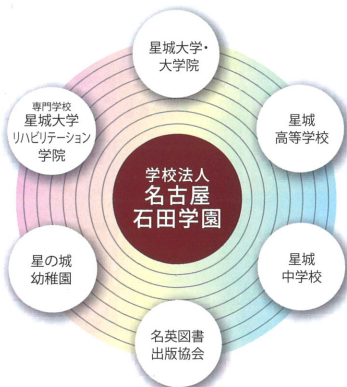
平成から令和に元号が改まった今年度のイベントでは、平和の象徴として「沖縄民謡ライブ」をお楽しみいただきました。全国のイベント等で活躍されている沖縄県出身の与那覇政克さんとMamiさんをお迎えし、唄、三線、島太鼓による心地良い沖縄の音楽に聴き入ったり、さらに会場皆さまの手拍子や踊りが加わるとライブは一気に楽しく盛り上がりました。



【会員交流会の様子】

イベント後の交流会では、積極的な名刺交換や企業PRが行われ、盛んに異業種交流、親睦の輪を広げることができました。

今年度も多くの方にご参加をいただき、とても好評な会となりました。



## 学校法人 名古屋石田学園

〒460-0008  
名古屋市中区栄1丁目14番32号  
Tel : 052-221-8921  
Fax : 052-689-6003  
URL:http://www.n-ishida.ac.jp/